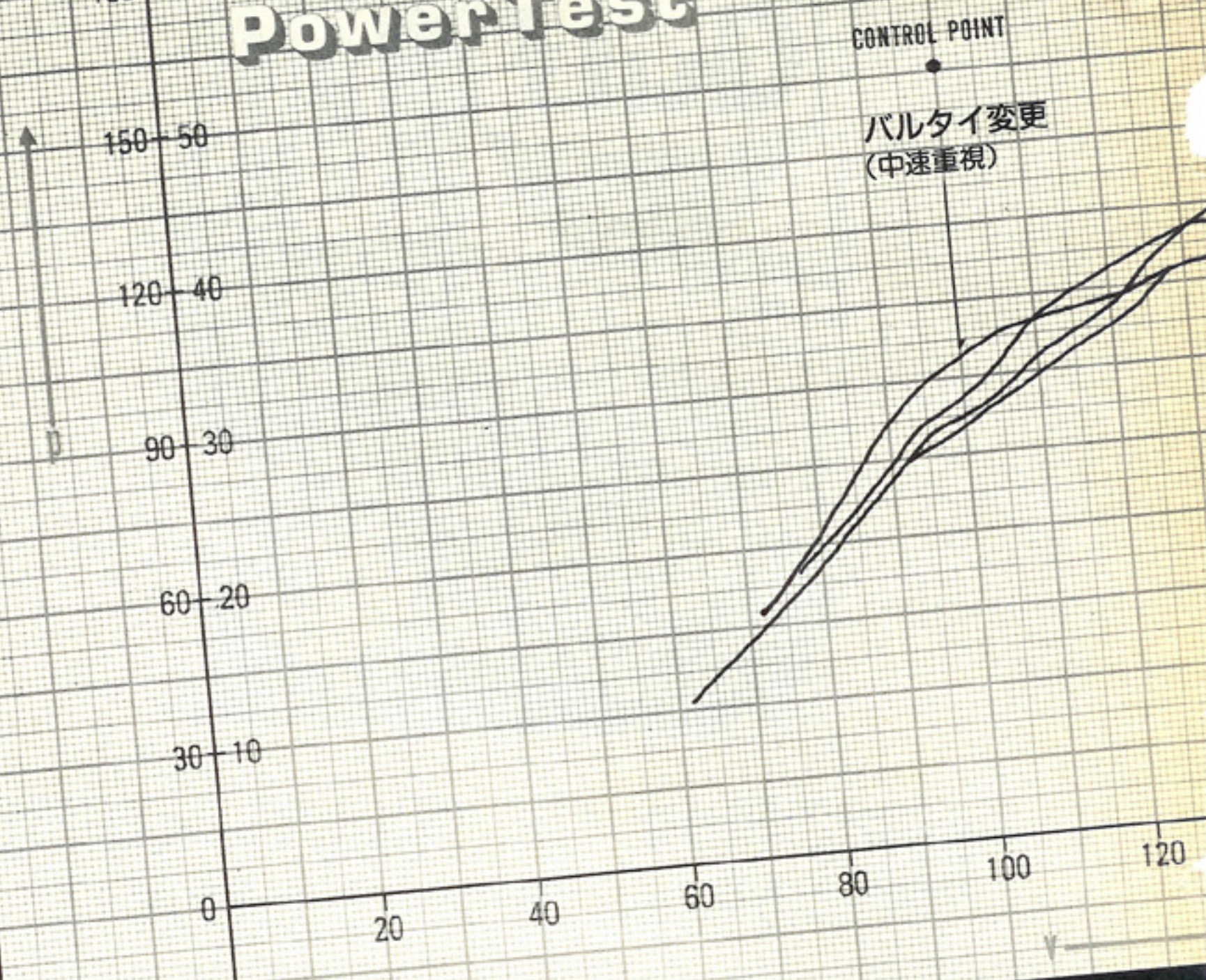


関西からライトな風が



BOSCH Power Test



このようなデータを実際に自分で確認するまでは、パワーのアップ率が信じられないのも当たり前だ。

トライアルの全長、コービーショップまで
完備している。



どこかを削ったりすることだと理解されているが、本来のチューニングの意味は調律するとか、調整するといったことであり、まさにアナライザーは本来のチューニングを取り戻してくれている。

さらに、トリアルでは近い将来のユイザーの要望はより高度に、より現実的に変化し、クルマがいきなり速く走り、いかにスムーズに曲がり、いかに安全に止まるかという点に移行すると考えている。

そこで、アナライザーの次に250キロ以上でも手を離しても安定していられるようなセッティングが可能なアライメント・セッティング用のメカニズムの採用を考えているという。

ノーマルであってもメーカーは80点主義のセッティングしか行なっていない。トリアルでは残りの20点を予備なセッティングにより稼いだとしてプラスしようという考えだ。

このような一見地味な考えが今後の主流になるような気がする。同時に、関東にもこの波が押し寄せてくるような気がしてならない。